

事業報告書

第4期

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

静岡県御殿場市中畑1691番地の14

平成28年度事業報告

1. 事業の実施に係る事項

1) 富士山に残されている天然林を保全、活用する事業

《事業》植生防護柵の点検、周辺部の食害調査

《目的》須山口周辺、東白塚に設置した6基の柵の点検および修復、植生復元状況確認など。

《実施日》4/10・4/16・7/1・9/16・10/31・11/29

《内容》破損等の点検、ステーの緩み修復、倒木除去、植生回復状況の確認と記録、周辺地域の食害状況の目視調査、写真撮影による記録。

《事業》須走口への植生防護柵設置

《目的》森林の植生を保護

《実施日》6/13(設置位置決定)・6/18(設置位置計測)・10/13(設置)・11/5(支柱設置)

《内容》静岡森林管理署、常葉大学環境防災研究所、常葉学生と協働で設置した。(約20名)

《事業》常葉大学環境学習支援・樹皮防護ネットの設置

《目的》ニホンジカによる樹皮被食のため多発している立ち枯れを防止

《実施日》4/5・4/24・11/11

《内容》静岡森林管理署、常葉大学と協働で実施した。

須山口下山歩道で防護が必要な樹木の確認作業、常葉大学新入生の環境学習および森林保全活動体験、旧須山口周辺部でネット設置作業を実施した。(約100名)

《事業》植生防護柵の植生調査

《目的》植生防護柵の効果を検証

《実施日》8/8(東白塚)・9/16(須山口)

《内容》調査者・元静岡県環境調査委員会植物部会会員佐藤孝敏氏(他3名)

2015年に東白塚の草原部に設置した植生防護柵の外に1箇所、中に3箇所のコードラートを設定し、植生調査を実施した。

2013年に設置した須山口周辺の4基の柵および対照区に2014年に設定したコードラートによるモニタリング植生調査を実施した。

《事業》センサーカメラによる動物調査

《目的》動物の生息調査およびニホンジカの状況調査

《実施日》4/10・4/16・5/12・9/5・10/31

《内容》旧須山口登山道周辺部(御殿場市)、旧水ヶ塚遊歩道周辺(裾野市・富士市)、須走口登山道周辺部(小山町)の森林にセンサーカメラを設置し動物調査を継続。

2) 富士山の森林で過去に失われた生物多様性を復元し、水源涵養力を保全するための事業

《事業》 国有林の富士山クラブ西白塚ウラジロモミ人工林の混交林化計画

《目的》 人工林を天然林に復元するための実験

《実施日》 8/2・9/26・10/15・11/8・12/7・12/16

《内容》 NPO法人富士山クラブ理事2名とともに現地確認(8/2)

協定林内に6箇所のコドラートを設け植生調査を実施(9/26・佐藤孝敏氏他5名)

毎木調査のための予備調査(10/15)

毎木調査(11/8・20名)

伐採(12/7・12/16・NPO法人富士山クラブが主体で実施)

3) 地域の環境教育に富士山の自然環境を活用する事業

《事業》 常葉大学環境学習支援 1)と同時に実施

《目的》 森林についての理解を深める

《実施日》 4/24

《内容》 常葉大学新入生の環境学習「緑陰トーク」で講師を担当。(約100名)

《事業》 御殿場市立高根小学校富士山学習支援

《目的》 環境教育および学習プログラムの作成

《実施日》 7/6,7/12,7/21(下見・撮影)・7/25(富士山学習)・8/5,9/5(撮影)

《内容》 地元小学校からの要請により須走口での6年生の富士山学習を支援(7/25)。

ルート設定、下見、学習プログラムの作成、講師の研修を事前に行ない対応した。
佐藤孝敏氏による植物調査および写真撮影等を行ない、資料写真なども使用して
富士山学習シリーズとして高学年から教員向けの冊子を作成した。

《事業》 御殿場西高等学校の環境学習に協力

《目的》 里山環境の森を学ぶ

《実施日》 10/6

《内容》 御殿場市御胎内清宏園での自然観察学習に講師として協力

《事業》 自然観察会

《目的》 それぞれの地域ごとの自然環境を理解する

《実施日》 5/14(水ヶ塚～旧須山口)・9/10(御殿場口)・10/1,10/22(水土野)・11/5(東白塚)

《内容》 活動区域の森林、地質、植生防護柵見学(5/14・11/5)

静岡県主催外来種駆除大作戦での午前の観察会講師を担当(約50名 9/10)

キリン・ランドネ「水をめぐる森の教室」で講師を担当(約50名 10/1,10/22)

《事業》 パネル展示

《目的》 森林保全活動の重要性と意義の啓発

《実施日》 8月～9月(裾野市遊園地ぐりんば) 2/23～(道の駅ふじおやま)

3/5(須走富士山巡拝の道フォーラム・会場須走小学校 約120名)

《内容》 「富士山の森と生物多様性」をテーマのパネル約100枚を展示。

4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

《事業》 御殿場口雪代堆積地の生物多様性保全

《目的》 帰化植物・侵入植物の駆除

《実施日》 8/6・9/10

《内容》 御殿場小山ボーイスカウトによる侵入種駆除活動で指導を担当した。
静岡県主催外来種駆除大作戦でハンドブック「富士山御殿場口雪代堆積地の侵入植物」を配布し、駆除の指導を担当した。(9/10)

《事業》 日立ハイテクサイエンス生物多様性プロジェクト支援

《目的》 環境学習フィールドの創出

《実施日》 4/26～2/28

《内容》 小山町の要請で地元企業の生物多様性プロジェクトに協力。
年間を通して植物と野鳥の調査を実施した。

※ 活動の中で纏めたりレポートなどはホームページで公開している。

2. 総括

環境教育のための「富士山学習プログラム冊子」を作成できたことで「富士山を活用した教育カリキュラム構築」への第一歩となった。

生物多様性の復元としてウラジロモミ人工林の混交林化実験に本格着手することができた。
活動についての報道、情報発信により当会への理解が進んだ。

活動記録写真



4/24 常葉大学新入生緑陰トーク&環境保全体験、静岡森林管理署と協働で支援し、森林についてのレクチャーと樹皮防護ネット掛けの指導を行った。



4/26～2/28 地元企業の生物多様性プロジェクトに協力。年間を通して植物と野鳥の調査を実施した。



5/29 静岡県野鳥愛護協会主催の探鳥会で森の案内と植生防護柵の見学説明を行った。



7/22 御殿場口火山荒原の自然植生観察と調査を実施した。



7/24～ 御殿場市市民活動支援センター主催のふらっと展に参加し、御殿場口の侵入植物などについてのパネルを展示した。



7/25 御殿場市立高根小学校の富士山学習に協力し、事前調査を行ない学習プログラムを作成、会員8名が講師を務めた。



8/1 御殿場口雪代堆積地に5m×5mのコドラートを4箇所設定して植生調査を実施した。



8/6 御殿場小山ボーイスカウトの外来植物・侵入植物駆除活動の指導を行った。活動は新聞報道された。



8月～9月 ぐりんぱ、2/23～ 小山町道の駅ふじおやま、3/5 須走富士山巡礼の道フォーラムでパネル展示を行った。



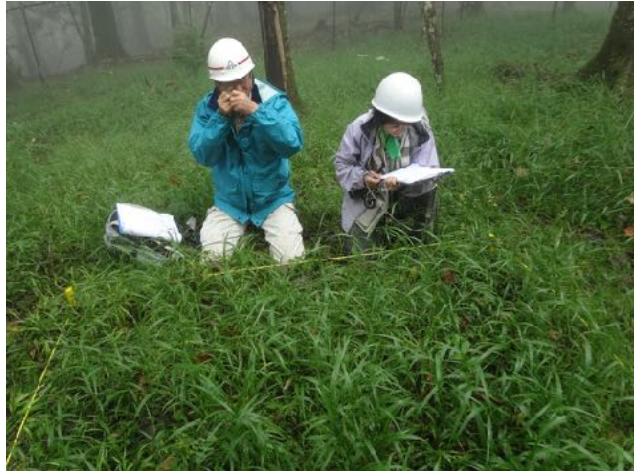
8/8 2015年秋に東白塚に設置した植生防護柵の中に3箇所、外に1箇所のコドラートを設定し、植生調査を行った。



9/10 静岡県主催外来種駆除大作戦で自然観察会の講師と外来種駆除の指導を行った。



9/16 2013年秋に須山口周辺の森に設置した植生防護柵のコドラートによる調査を実施した。柵の内外の差が顕著に表れており、鹿の食圧の影響が深刻であることをあらためて確認した。



9/26 富士山クラブ西白塚協定林の混交林化実験で伐採前の植生調査を実施した。



10/6 昨年に引き続き御殿場西高等学校の環境学習の講師を担当した。



10/13 須走口馬返し付近の国有林に静岡森林管理署、常葉大学と協働で植生防護柵を設置した。



10/1,22 キリン・ランドネ主催「水をめぐる森の教室」で講師を務めた。



11/8 富士山クラブ協定林のウラジロモミ人工林の混交林化実験で、富士山クラブと協働で伐採予定部分の毎木調査を実施した。



11/11 常葉大学と協働で須山口周辺の森で樹皮防護ネット(サブリガード)を設置した。



11/16 須走口に設置した植生防護柵の杭に支柱を設置した。



11/29 須山口に設置した植生防護柵の倒木を除去した。



3月 高学年から教員向けの環境学習用冊子教員が現地で環境学習を行う際の参考となる内容となっている。

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14
TEL 0550-89-6905 FAX0550-73-0434
ホームページ <http://hosigarasu.org>
Eメール info@hosigarasu.org